

書名	十角館の殺人（新装改訂版）		出版年 （西暦）	2007
著者・編者	綾辻行人	出版社	講談社	
学部・研究科	理学部		学年	4年
<p>凄い、としか言いようがありません。凄い本格ミステリーです。</p> <p>自分の好きな作家さんが好きな作家さんのデビュー作で、また、ミステリー小説が好きなこともあり、軽い気持ちで読んでみました。しかし、読み進めて行くうちに、どんどん小説の世界に引き込まれてしまい、一気に読み切ってしまいました。結末が「こんなのアリか？全然予想だにできなかった」という感じで、かなり衝撃的でした。</p> <p>綾辻さんの作品で特徴的なのは、大どんでん返しのあるストーリーに叙述トリックです。もちろん、この『十角館の殺人』も例外ではありません。ミステリー小説が好きな方や、本格ミステリーに手を出してみたいという方は、ぜひ読んでみてください。</p> <p>あなたは、犯人が解りますか？（犯人が解ったとしても、驚愕の結末やトリックが待っているはずです）</p>				